

令和7年 死亡災害発生事例

(令和7年9月末日集計 「脳・心臓疾患」、「精神障害」、「新型コロナウイルス感染症」に係るもの及び調査中のものは除く)

埼玉労働局

番号	発生月	発生時間帯	業 種	事業場規模	被災者 年齢層	災 害 発 生 の あ ら ま し	事故の型	起因物
1	2 月	1 3 時	陸上貨物 運送事業	10～49人	55～59歳代	配送先において、トラックの荷台で作業中に仮置きされた荷（空パレット）を押し込んだところ、上段の2枚が被災者側に崩落し、激突したものの。	崩壊、倒壊	荷姿のもの
2	2 月	6 時	その他の事業	300人～	80～84歳代	勤務交代時に道路を横断しようとした際につまづき、トラックと接触した。	交通事故	トラック
3	2 月	9 時	建設業 (その他)	10～49人	60～64歳代	倉庫内の垂直搬送機を解体する工事において、搬器が降下し、1階昇降路内にいた労働者が下敷きとなったもの。	飛来、落下	エレベータ、 リフト
4	2 月	9 時	卸売業	1～9人	70～74歳代	移動式クレーン（ユニック）の先端に取り付けたカゴに乗って作業中、9メートル下に墜落したものの。	墜落・転落	移動式クレーン
5	3 月	2 時	商業 (小売業)	10～49人	50～54歳代	バイクに乗って配達中、駐車しているトラックに後方から追突した。その後、入院加療中であつたが死亡したものの。	交通事故	バイク
6	3 月	1 5 時	商業 (小売業)	10～49人	55～59歳代	信号機のない十字路交差点において、軽乗用車と被災者が運転するバイクが衝突したものの。	交通事故	バイク
7	4 月	1 1 時	建設業 (建築)	1～9人	55～59歳代	マンションの改修工事現場において、塔屋付近の屋根上にうつぶせで倒れているところを発見されたもの。	墜落・転落	建築物

番号	発生月	発生時間帯	業 種	事業場規模	被災者 年齢層	災 害 発 生 の あ ら ま し	事故の型	起因物
8	4 月	2 時	陸上貨物 運送事業	100～299 人	25～29歳代	高速道路において、被災者の運転していたトラックが、渋滞していた車列に追突したものの。	交通事故	トラック
9	6 月	16時	製造業 (印刷・製本)	50～99人	60～64歳代	機械のメンテナンス中に意識を消失し、仰向けの状態で倒れて床に頭を強打した。	その他	分類不能
10	6 月	22時	製造業 (化学工業)	300人～	20～24歳代	20L缶に入った硫酸ジメチル(濃度100%)を瓶へ小分けしていたところ喉に違和感が生じた。その後、喉の痛みが悪化したため救急搬送され、入院加療をしていたが、2週間後に死亡したものの。	有害物等との接触	有害物
11	7 月	14時	製造業 (金属製品)	10～49人	65～69歳代	貨物自動車の荷台上で作業中、荷積みのために使用していた橋形クレーンの吊り荷が荷台に仮置きしてあった鉄筋に接触し、鉄筋とともに地面に墜落したものの。	激突され	クレーン
12	7 月	17時	製造業 (その他)	1～9人	60～64歳代	工場の鉄骨梁に上り、下から荷物を受け取ろうとしたところ、バランスを崩し約2.7メートル下の床面に墜落し、8日後に死亡した。ヘルメットを着用していなかった。	墜落・転落	建築物
13	8 月	9 時	清掃業	10～49人	50～54歳代	下水道管路内の点検ため、マンホールから入坑したところ、タラップから管路内に墜落した。	有害物等との接触	有害物
14	8 月	9 時	清掃業	10～49人	50～54歳代	下水道管路内にマンホールから入坑した者が墜落したので、救出のため入坑したが、管路内に墜落したものの。	有害物等との接触	有害物

番号	発生月	発生時間帯	業 種	事業場規模	被災者 年齢層	災 害 発 生 の あ ら ま し	事故の型	起因物
1 5	8 月	9 時	清掃業	10～49人	50～54歳代	下水道管路内にマンホールから入坑した者が墜落したので、救出のため入坑したが、管路内に墜落したもの。	有害物等との接触	有害物
1 6	8 月	9 時	清掃業	10～49人	55～59歳代	下水道管路内にマンホールから入坑した者が墜落したので、救出のため入坑したが、管路内に墜落したもの。	有害物等との接触	有害物